

日本華人教授会議 07年活動記録 (敬称略)

1. 学術活動

◆2007年2月26日、「中国の目指す和諧社会・和諧世界とは何か」シンポジウム。発表者：季衛東(中国の社会の発展と法治)、嚴善平(中国農政の大転換—兼4つの「中央一号文件」の歴史的意義)、馬小軍(アジア太平洋における中国の役割と位置)。

◆同3月8日、中日関係研究委員会主催の勉強会「近年の中国における歴史教科書改革の動向と問題点」。発表者：蘇智良、高蘭、王少普。



◆同3月26日、立命館孔子学院第6回敬学講座「和谐社会の構築と2020年の中国—その目標と課題」(立命館孔子学院、京都大学京都サステナビリティ・イニシアチブと共催)。

◆同10月16日、政治経済研究委員会と中日関係研究委員会共同主催の内部研究会。中国党中央文献研究室・曹応旺研究員は「中共党史研究の最新動向～高文謙の『晩年周恩来』の評論、林彪の歴史的再評価を兼ねて」をテーマに講演。



◆同11月2日、「戦略的互惠関係の充実化を目指して—創立四周年記念シンポジウム」。



2. 対外交流活動

◆2007年2月28日と11月8日 自民党政調会で日本の経済発展に関する勉強会。日本の中央と地方の関係、日本の食品安全対策などがテーマ。

